日本女子大学文学部・文学研究科学術交流企画　講演会・新内上演

樋口一葉『たけくらべ』

生成　認知　流通

講演会 入場無料・予約不要

橋本のぞみ［日本女子大学他 非常勤講師］
「変容する語り
—『たけくらべ』の生成過程」

笹尾佳代［徳島大学 准教授］
「〈翻訳〉の「たけくらべ」
—更新される物語—」

山本欣司［武庫川女子大学 教授］
「信如像再検討の試み
—信如はツンデレか—」

新内上演 入場無料・予約不要

『たけくらべ』
富士松鶴千代［新内千歳派 三代目家元］
〈協力：NPO法人和文化交流普及協会〉

司会●渡部麻実［日本女子大学 准教授］

平成二十六年
十二月二十一日［日］
午後一時～午後四時三十分（終了予定）
［開場 午後十二時三十分］

日本女子大学 目白キャンパス
成瀬記念講堂 入場無料・予約不要

問い合わせ先●日本女子大学文学部日本文学科
〒112-8681 文京区目白台2-8-1
TEL／FAX 03-5981-3522

［写真］樋口一葉肖像［台東区立一葉記念館蔵］／『真筆版たけくらべ』博文館、大正七年［『新選名著復刻全集』近代文学館］

日本女子大学文学部・文学研究科学術交流企画　講演会・新内上演

樋口一葉『たけくらべ』

生成　認知　流通

日本で最初の女性職業作家として知られる樋口一葉（一八七二～一八九六）は、一八九四（明治二七）年十二月から九六年一月にいたる、いわゆる〈奇跡の十四ケ月〉に『大つごもり』『にごりえ』『十三夜』『たけくらべ』を矢継ぎ早に発表し、二十四歳で急逝しました。ドラマ性に富んだその生涯および創作は、伝記、映画、テレビドラマ等々においても度々取り上げられ、その都度あるイメージを形作り、それを流通させてきました。

文芸雑誌「めさまし草」の合評欄「三人冗語」（一八九六・四）で、森鷗外、幸田露伴、斎藤緑雨によって『たけくらべ』に与えられた絶賛が、『たけくらべ』および一葉の存在を一躍世に知らしめたことはよく知られています。このインパクトの強い初期批評は同時に、その後の『たけくらべ』や一葉の作家イメージの形成と流通に、一定の道筋を付ける働きをも果たしました。さらに、一九八〇年代に起こり現在に引き継がれる『たけくらべ』論争が、『たけくらべ』イメージの展開に、新たな方向性を付け加えることになります。

二〇一四年は、新渡戸稲造にかわり、五千円紙幣の新しい肖像に樋口一葉が採用されてからちょうど十年目にあたります。二〇〇四年、日本銀行券の新たな顔となった一葉の代表作『たけくらべ』は、文学研究や国語教育の現場、あるいは文学愛好家の枠組みをこえ、あらためて脚光を浴び、日本近代を代表する〈名作〉として、ふたたび流通を開始しました。

講演会・新内上演「樋口一葉『たけくらべ』―生成・認知・流通―」では、現代を代表する樋口一葉研究者に加え、新内千歳派の三代目家元をお迎えし、小説それ自体の生成・誕生から、小説の認知、およびイメージの流通にまで目を向けることで、『たけくらべ』とは何かという問、さらには〈名作〉はいかにして生成し、認知され、流通してゆくのかという問に、新たな形で迫ってみたいと思います。

平成二十六年
十二月二十一日［日］
午後一時～午後四時三十分（終了予定）
［開場　午後十二時三十分］

日本女子大学　目白キャンパス
成瀬記念講堂

入場無料・予約不要

講演会

橋本のぞみ［日本女子大学他　非常勤講師］
「変容する語り
―『たけくらべ』の生成過程」

笹尾佳代［徳島大学　准教授］
「〈翻訳〉の「たけくらべ」
―更新される物語―」

山本欣司［武庫川女子大学　教授］
「信如像再検討の試み
―信如はツンデレか―」

新内上演

『たけくらべ』
〈協力：NPO法人和文化交流普及協会〉

富士松鶴千代［新内千歳派　三代目家元］
新内界の実力者富士松芳太夫、富士松鶴之助を父母に持ち、十歳でプロの道に入る。十六歳より、富士松鶴千代の名で活動を開始。十一代目市川団十郎に認められ、一九六四年、女性で初めて歌舞伎座で新内の出語りをつとめた。八一年、千歳派三代目家元を継承。活動は古典にとどまらず、「文学シリーズ」「新内風物語」等で新境地を開き、三越劇場を主な拠点として活躍、歌舞伎座への出演も重ねている。

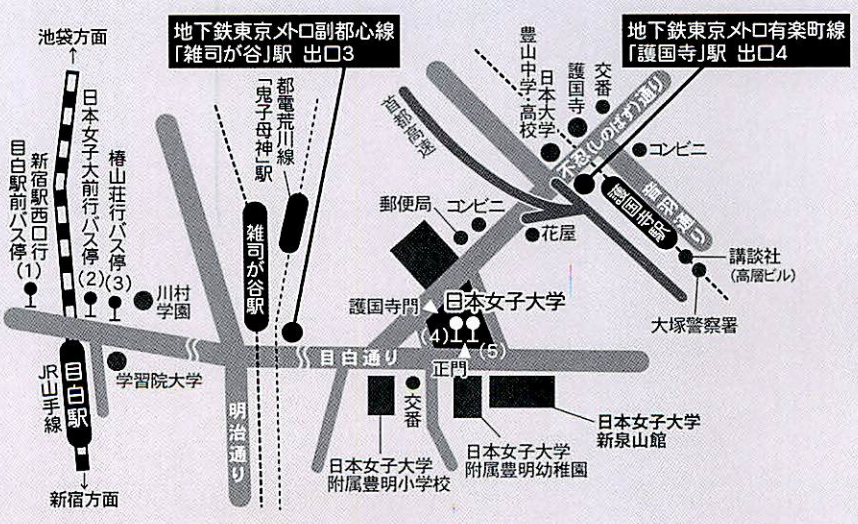
司会●渡部麻実［日本女子大学　准教授］

問い合わせ先●日本女子大学文学部日本文学科
〒112-8681　文京区目白台2-8-1
TEL／FAX　03-5981-3522

［写真］樋口一葉肖像［台東区立一葉記念館蔵］／『真筆版たけくらべ』博文館、大正七年［『新選名著復刻全集』近代文学館］

日本女子大学　目白キャンパス
成瀬記念講堂

日本女子大学　目白キャンパス
東京都文京区目白台2-8-1　03-3943-3131（代表）

アクセス

JR山手線　目白駅から　徒歩　約15分／バス　約5分
都営バス（学05）「日本女子大学行き」（直行）
「目白駅前」（2）乗車　「日本女子大前」（4）下車
日曜日　都営バス（学05）系統　運休
都営バス（白61）「新宿駅西口」行き、または「椿山荘」行
「目白駅前」（1・3）乗車　「日本女子大前」（5）下車
東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅（3番出口）　徒歩　約8分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅（4番出口）　徒歩　約10分